
メリーゴーランド

椎名

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

メリーゴerland

【コード】

N0283BA

【作者名】

椎名

【あらすじ】

巡り、行き着く先になにが見える？

(前書き)

「」閲覧頂き誠にありがとうございます。

また、雪の季節がやってきた。ぬくもりに解けたそれに、私はふつと微笑んだ。

人生の中で、他人でないのは一割にも満たない。電車に乗ったとき、私は隣席の人の名前を知らないし、知りたいたも思わなかった。どこかで再び会ってもそれを『再会』とは呼ばず、『偶然』と呼んだ。価値観の裏側にいる人とは関わろうともしなかった。

同じ方向に進んでいるのに、合うことは決してない。

「昨夜八時過ぎごろ、……の横断歩道でバイクと自転車が衝突、バイクに乗っていた……さんが重症、自転車の運転手……さんが死亡する事故が」

ラジオから聞こえる、誰かの涙を告げる声。私は小さく、これじや分からない、と呟いた。

バイク側の不注意なのか、はたまた自転車の信号無視なのか。それによって物事の善悪は大きく変わってくる。私の価値観に基づいて言えば、そうなのだ。

さまざまだから、争いが起こる。

「本日、五十パーセントオフです」

その価値に見合うものを生産し、ニーズが変われば破棄する。

ならばその価値観を平らにすればいいと、私は思う。

「ごゆっくりどうぞ」

レストランでも、遊園地でも、私はよくこの言葉を聞く。金額が、時間が、それに見合っているかどうか見極めるのは私たち消費者だ。そして、その価値を決める基準はどうしても一緒にならない。大抵の問題の元凶は価値観の違いだろうと思えてならないのだ。

生が善で死が悪だと定めた人はどうやって価値観の基準を作ったんだろうか。できることなら、詳しく教えて欲しい。

私は、どうすれば反対側にいる人に会えるだろう。

「お乗りになられますか？」

「あ……はい」

回転と静止を繰り返す回転木馬。しかし、ひとたび乗れば次々と景色が変化していく。一瞬たりとも同じことはない。

けれど、やっぱりいたちごっこだ。

何度繰り返しても、終わりなんてなかった。果ては見えず、底は知れない。私が進んだのと同じだけ進んで、一向に会えない。それは私以外の人にとっても同じことだ。誰も反対側に触れられない。触れられることもない。それを無駄だと思うかどうかは人それぞれだが、基準はある。私は、これが不毛だとは思わない。私の手が届く範囲のものしか掻き集められない私にとって、限界まで手を伸ばすことはとても大切だから。遠くの価値観は近くのそれと手を繋いで取り入れていった。そうやって、少しずつ、私は私の価値観を普遍的にしていた。そうする内に、私は個性を失った。しかし、それも良い。何よりも理想的な認識になるためなら、仕方ない。そうやっていけば、いつかは正反対の人に触れられると信じていた。しかし、そうはいかなかった。誰にもその人の価値観が理解できない。納得できない。ついに私の道は断たれて、私は不完全なまま回り続ける。

「私は」

完全になることは、誰でもなくなることだ、と、誰かが言った。

完全になろうとするたび、一步、また一步と壊れていくのだと言った。

そんな理屈、私は知らない。

「私は、誰？」

君は君、僕は僕だよとその人は笑う。

私とは正反対な、トートロジスト。

「教えて？ 貴方の価値観を」

その前に、君の価値観を教えてくださいませんか、と、彼は言った。

そして、最初は名前を聞くべきじゃないかとも言った。

答えられない私に、彼はほんの少し微笑んで言った。

「僕は綾川圭吾。個性が一番だと思ってる人間さ」

季節は巡り、あるときから二度目の冬が来た。

雪の降るころ、私はそれを思い出す。

(後書き)

最後までお読み頂き誠にありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0283ba/>

メリーゴーランド

2012年1月2日05時52分発行